

No.14-85 JSME ジュニア会友向け 機械の日企画

「親子見学会 ～製鉄所と造船所を『体感』しよう!～」を終えて

部門企画委員会 松本亮介（関西大学）、中垣隆雄（早稲田大学）

将来を担うジュニア会友に、機械や工学、エネルギーに興味を持っていただくことを目的として、2014年8月1日に夏休み親子見学会を開催しました。本会は毎年開催しており、本年度は11回目の開催となります。今年にはJFEスチール（株）東日本製鉄所（千葉地区）と三井造船（株）千葉事業所を訪問し、「製鉄所と造船所を『体感』しよう!」をテーマに見学会を実施しました。今回は、世田谷文学館との共催として実施し、JSMEジュニア会から31名（保護者含む）が、世田谷文学館からは26名（引率者含む）の合計57名にご参加いただきました。

『体感』という言葉がまさしく当てはまる見学会でした。午前中に訪問したJFEスチール東日本製鉄所では、東京ドームおよそ170個分の面積を持つ銑鋼一貫の製鉄所です。火花と炎が立ち上がるダイナミックな転炉の工程では鉄の熱さを体験し、赤とも緑とも言えない炎が巨大な転炉から立ち上がる様子を子供たちは暑さを忘れて凝視していました。赤熱した鋼と多量の水が流れる熱間圧延の工程では、鋼材巻取りのうなりをあげる地響きを体感し、500mを越える見学コースを抜けると、外気の涼しさを感じました（当日の千葉の最高気温は34℃であったにも関わらずです）。

午後の三井造船千葉事業所の訪問では、巨大な鉄のから船が組み立てられている様子を見学しました。船のスケールのみならず、高さ約80mの1000tクレーンは圧巻でした。造船所に併設されたバイオマス発電設備の見学では、燃料である木材チップを満載したトラックそのものを55°の角度まで傾けるというダイナミックな燃料投入方法に、子供たちはびっくりした様子でした。巨大で迫力ある製鉄所と造船所を、直接、目や耳、そして肌で体感したものと思います。

製鉄所、造船所とも子供たちへはクイズを交えた説明をいただきました。熱心にクイズに答える子供たち、そして次々とあがる子供たちからの質問に熱意を感じました。参加していただいた子どもたちには、見学会の感想などの自由研究作品（感想文、絵日記、工作など）の応募をお願いし、提出していただいた全員に記念品を、また優秀作品には賞状と副賞を贈呈します。優秀作品については、日本機械学会ジュニア会友ホームページ、そして世田谷文学館の展示室で紹介する予定ですので、ぜひご覧ください。

最後に今回の見学会で大変お世話になりましたJFEスチール（株）、三井造船（株）の方々に感謝申し上げます。また、猛暑の中、熱心に見学いただいた参加者の皆様に感謝いたします。

